

災害に備えて するべきこと

防災への意識改革 ②

安全で住みよい

ニュース

防災交通課
(内208)

地震に備えるために

最低限これだけは
やっておきたい

事前の備え

「地震が来たらもう仕方ない」と考えていけません。確かに地震は避けることができません。しかし、事前の備えをしっかりと準備しておけば、あなたとあなたの家族の命が助かる可能性は確実に高まります。

「家庭の防災対策」といつても何から始めたらいいかわからないと困惑し、手付かず状態の家庭が多いのではないのでしょうか。防災の備えに完璧とこのはありませんが、次の4つの基本は押えましょう。

家具の転倒防止

休日や夜間を含めれば、生活する時間が最も長いのが自宅となります。家族の生活の場である家と家具が、凶器にならないようにしましょう。テレビ

阪神大震災で三つ脚も飛んだ例もあります。止め金具用の穴を利用して固定する。花瓶などが倒れると、発火、爆発する可能性もあるので、上には置かない。

ピアノ

多くの被害は転倒でなく「移動」であったので、移動防止を考える。

冷蔵庫

背面にある運搬用の取っ手を利用して転倒防止ベルトを使って固定する。

照明器具

寝室だけでもつり下げタイプから直接取り付けるタイプに変える。

食器棚・本棚・タンス

L字金具で固定。重いモノは下段に隙間無く収納。ガラスに飛散防止フィルムを張る。警戒宣言発令時や余震が続く時に下段の引き出しを少し開けておくと倒れにくい。

家屋の耐震診断・耐震改修

愛知県が実施した東南海地震の被害予測では、阿久比町のほぼ全域で震度6弱が予想されます。

耐震性の低い家では財産を失うだけでなく、さらに家族の命までも失うこととなります。住んでいる家が地震に対してどの程度の強さがあるかまず耐震診断を受けましょう。

町では昭和五十六年五月三十一日以前に建築（着工）された木造住宅（長屋と併用住宅で借家を含む）の無料耐震診断を今年度まで行っている。

ます。耐震改修補助制度は来年度まで実施します。（問い合わせ先 建設課計画係（内288））

避難場所や安否確認の家族間での約束

電話が集中してかかりにくくなれば、離ればなれとなった家族間の連絡は取りづらくなります。家族間で集合場所を決めておきましょう。

NTTの「災害用伝言ダイヤル171」の利用方法を習得しておくことが大切です。毎月一日は体験利用ができます。

非常持出袋、備蓄品の用意

三つの場所に分けて準備しましょう。

枕元の袋

・懐中電灯・赤色灯付きホイッスル（下敷きになって動けないときに使用）・厚底スリッパ・ガラスなどが散乱した屋内を移動するために持ち出しやすい場所にリュックで用意

・高カロリー食・飲料水・雨具・携帯ラジオ・懐中電灯・軍手・万能ナイフ・マグカップ・ばんそうこう・タオル・せつけん・ラップ・ポリ袋・筆記具・ノートなど
車のトランクや屋外の物置などに衣装ケースなどに入れて用意
・食料・飲料水・新聞紙・ティッシュペーパー・カセットコンロ・食器類・テント・寝袋など